

質疑要旨 法人保育園に対するアンケート等を行い、保育士の離職原因を分析し、現場の声を把握したうえで、保育士確保策を講じるべきではないか。

答弁要旨

本市ではこれまで保育士宿舎借り上げ事業や保育士確保事業等を組み合わせた補助金による保育士支援、保育士・保育所支援センター「あまのかけはし」による保育士と保育所のマッチング等の保育士支援・雇用支援を実施し、保育士確保に努めてまいりました。

令和4年度は、こうした取組に加えて潜在保育士就労支援金の拡充を行うこととしておりますが、保育士確保のためには、御指摘のとおり、現場の実態を的確に把握することは重要であると認識しておりますことから、法人保育施設の協力を得ながら、保育現場における保育士の実態調査を行うとともに当該支援センターにおいても各保育園や潜在保育士の方々の意見を聴取し、保育士の離職防止及び確保に繋がる、有効な施策を検討して参ります。

以 上

質疑要旨 登降園記録・日誌作成機能等が付いていない「よい子ネット」を令和4年度も採用した理由と、手書き日誌の負担をどのような方法で軽減する考えなのか教えてください。

答弁要旨

公立保育所で導入しております、「よい子ネット」につきましては、これまで「専用ホームページ」に日々の保育所の様子を写真で掲載し、また、「お知らせメール」では、新型コロナウイルス関連や風水害の対応等の連絡を保護者に一斉配信する等の活用をしております。

令和4年度からは、保護者からの欠席届の送受信や個人情報保護の観点から各児童の活動記録の限定公開の設定、「おたより」や配布資料のファイル掲載等の機能が拡充されたことで、保育所と保護者間のコミュニケーションがより便利になることから継続して使用することとしております。

(次ページへ続く)

また、現在、各保育所での職員の保育日誌の作成はパソコンでも可能となっておりますが、各自一台のパソコンが配布されていないことから、手書きで作成している職員もおります。作成に要する時間に大きな差はございませんが、今後につきましては、指導計画等の記載方法や様式の簡素化など、保育所職員の意見も取り入れながら、保育士業務の負担軽減に取り組み、児童や保護者と向き合う時間の拡大に努めて参ります。

なお、登降園記録につきましては、すでに導入済みの法人保育園に伺ったところ、各園毎に設定された時間単位での延長保育料の計算が自動的にされ、大変便利であるとお伺いしましたが、公立保育所においては、月額もしくは1回当たりで利用料を定めており、計算が複雑でないことから、導入を見送っているものでございます。

以 上

質疑要旨 子育て支援員研修の認知度の向上及び、働く人の確保のための方策を教えてください。

答弁要旨

子育て支援員研修につきましては、地域において保育士資格を有していないが保育や子育て支援等の仕事に関心を持ち、その分野の各事業等に従事することを希望する方々を対象に、支援の担い手となる「子育て支援員」を養成するための研修を兵庫県が実施、市町村はその受付窓口となり、研修受講申込書の受付や見学実習先の調整を行うなど、兵庫県が主体となり実施及び広報を行っている事業でございます。

今年度研修を終了された「子育て支援員」が尼崎市保育士・保育所支援センターを通じて2名、市内保育施設に就労されました。そのことも踏まえ次年度からは「子育て支援員研修」の募集時期等の広報を支援センターのホームページでも掲載するとともに、研修の申込者に対してセンターの事業説明を行い、研修修了者が尼崎市内の保育施設での勤務を希望される場合、丁寧なマッチングにより、一層就労に繋がるよう取り組みを進めて参ります。

（以 上）

質疑要旨 市が尼崎市シルバー人材センターに委託する基準はどのようなものか。

答弁要旨

尼崎市シルバー人材センターは、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を図ることにより、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とした公益社団法人であります。

市としましては、地方自治法施行令に基づく特定随意契約の対象団体であることから、市報配布、除草・剪定作業、自転車整理、公園管理等の委託を行っております。

また、団体の設立目的に沿った施設について、指定管理者としています。

以 上

質疑要旨 老人福祉工場の利用者が伸び悩む中、非公募で市からシルバー人材センターへの指定管理をやめなかった理由は。

答弁要旨

シルバー人材センターは、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、非営利活動を行う公益社団法人として、自ら生きがいの充実や社会参加を希望する高年齢者に対し、軽易な業務等に係る就業の機会を提供し、高年齢者の就業の機会の増大と福祉の増進を図ることを目的に設立された団体です。

また、老人福祉工場は、高齢者に対し労働の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくりや、福祉の増進に寄与するための施設であり、シルバー人材センターの設立目的と合致することから、非公募での指定管理としているものです。

以 上

質疑要旨 老人福祉工場の利用者を増やすための具体的な取り組みは何か。

答弁要旨

これまで実施してきた老人福祉工場の事業については、なかなか利用者の広がりが見えず、費用対効果の面で課題があると認識しております。

そのため、広報の取組としては、シルバー人材センターの会員を中心に、老人福祉工場のPR活動を行うとともに、シルバー人材センターの事務局だよりや市報等を活用し、利用者の募集を行ってまいりました。

また、老人福祉工場を知り、気軽に利用していただけるよう、老人福祉工場内で、高齢者向けのパソコン教室等を実施するなど、利用者の拡大に努めてまいりましたが、コロナ禍^{の影響もあり、}積極的な取組を進めることができない状況が続いております。

以 上

質疑要旨 老人福祉工場の利用者が増えなかった反省を高齢者生きがい就労事業にどのように活かしていくのか。

答弁要旨

高齢者の就労的活動支援については、高齢者の生きがいづくり、ひいては介護予防につながる効果が期待され、これからの更なる超高齢化社会の進展を見据え、より一層の推進を図っていく必要があると考えています。

こうした中、令和2年度から、介護予防・日常生活支援総合事業の一つとして、高齢者個人の特性や希望に合った活動をコーディネートする「就労的活動支援コーディネーター」の配置が可能となりました。

(次ページへ続く)

そのため、当該事業を活用し、本市では、老人福祉工場だけでなく、高齢者ふれあいサロンや老人クラブなどの身近な地域の集い場でも生きがい就労を実施できる体制を整備するため、令和4年度から令和6年度までをモデル期間として、「就労的活動支援コーディネーター」を配置し、一人でも多くの高齢者が社会参加として生きがい就労に携わっていただけるよう取り組んでまいります。

以 上

質疑要旨 児童ホーム、こどもクラブの変更点をどのように告知するのか。児童が増えてきたとき、こどもクラブ職員の増員は検討しているのか。

答弁要旨

児童ホームについては、令和4年度に入所する児童の保護者に対して、3月3日・4日の入所説明会において、開所時間の延長について周知を行いました。また、こどもクラブについては、市ホームページで開所時間の変更も含め令和4年度のこどもクラブ事業について掲載するとともに、3月14日から開始したこどもクラブの登録受付時に、保護者に対して個別に説明を行っております。

令和4年度からのこどもクラブの開所時間の変更等により、こどもクラブの参加人数が増えることは考えられますが、現在、こどもクラブの登録児童数については、コロナ前の人数には戻っていない状況にあるため、今後の参加人数の動向について注視していくとともに、状況に応じて柔軟に対応してまいります。

以 上

質疑要旨 観光土産認証制度において、市民の意見を反映することは考えていないのか。また、販路や販路開拓は具体的にどのようなものか。

答弁要旨

観光土産認証制度につきましては、地域事業者の参画を促すとともに、観光客はもちろん、市民も買いたくなる、自慢したくなるお土産を増やす制度とし、ひいては地域経済活性化につなげてまいりたいと考えております。

そのため、まずは、審査員に経営面での視点から意見をいただける民間事業者や、バイヤー等小売販売に精通した専門の方などをお願いする予定でございます。

また、販路につきましては、観光案内所や商業施設、ふるさと納税の返礼品のほか、市内産業団体等のネットワークを活かし、物産展や商談会において認証商品をPRするなど、様々な販路開拓に取り組んで支援してまいります。

以 上

質疑要旨 メイドインアマガサキの中に「お土産部門」を作らず、新たに観光土産認証制度を作る理由は。

答弁要旨

メイドインアマガサキにつきましては、商品、サービスのみならず、工業製品や技術、人や組織など、尼崎にちなんだものすべてを対象とした認証制度であります。

今回の観光土産認証制度につきましては、「観光土産」という視点で、地域性に加え、持ち運びやすさ、配りやすさ、来訪者にも喜んでもらえることのほか、販売力も意識した制度を考えております。

また、対象とする商品は、新しいお土産の提案だけでなく、メイドインアマガサキ認証商品も含め審査対象とすることで、地域一体となった尼崎ブランドの全国発信と、地域経済の活性化につなげてまいります。

以 上

質疑要旨 寄付の詳細は。

答弁要旨

議員お尋ねの寄附に係る経緯としましては、毎月、駅の北側にある広場の清掃活動に取り組んできた中、マチの玄関口である駅前をきれいな状態で保つには清掃だけでは限界があり、大規模に改修できれば、清掃の効果が維持できるため、寄付という形で施設を改修し、まちの賑わいづくりに貢献したいと、相談があったことがきっかけです。

これを受け、駅前広場の整備から30数年がたった現状で、今後の維持補修等も考慮した中、駅北側の「出屋敷駅北広場」とバスロータリー一部分の整備について、公園や道路に関する法令上の手続きを経て、寄付者による工事を行っていただくこととしたものです。

以 上

質疑要旨 具体的な整備内容はどのようにきめたのか。

答弁要旨

今回の整備については、この機会を逃さず、少しでも早く整備効果を発現するために、工事は、市で実施するのではなく、寄付者により実施していただくほうがよいと判断しました。

その一方で、整備の内容については、交流や賑わいの拠点として、多くの方々が利用される場所であることから、市が主体となり、利用者の安全を確保することはもちろん、アンケート調査や会議等により、地域の方々の意見を聞く中で、ベンチ等を整備して憩える場とすること、さらには、広いスペースも確保することなど、いただいた意見を整備内容に反映させるなど、市が計画内容を決定したものです。

以 上

質疑要旨 再整備のコンセプトに、市の想いは入っているのか。

答弁要旨

先ほど申し上げましたとおり、この広場の整備内容については、日常的な憩いの場となり、様々な活動が行われる場となるよう、市の想いを込めて決定しております。さらに、毎月の清掃や、住民参加型のペインティングなど、協働による取組も進めてきた中、新しくなった駅前広場は、市の想いだけでなく、利用される地域の方々の想いを活かしていくことも重要と考えております。

いずれにしても、「地域の課題や特色を意識しつつ、既存の資源を活かし、新たな賑わいづくりに繋げること」、「そうした取組の紹介や住民の方々の暮らしぶりにも着目した発信を行うこと」といった大きな考え方のもと、先ずは、鉄道駅周辺から、賑わいや魅力づくりにつなげていきたいと考えております。

以 上

質疑要旨 大型の寄附案件があった場合、本市が目指す持続可能なまちづくりに沿ったものか、どのように判断するのか。

答弁要旨

今回の寄附については、決して寄付者任せではなく、そのスピード感に合わせながら、市として地域の方々との意見交換等を重視して行ってきたほか、施設の維持更新も意識する中で、実施についての判断をまいりました。

寄附による取組につきましては、一概に申し上げることは難しいですが、民間との協働で取組を進めるにあたってはスピード感にも対応しつつ、地域の方々との合意状況、費用対効果、地域のまちづくりへの貢献度、さらには、寄附後の活用方法などについて、個々の事例ごとに総合的に判断していくことが必要だと考えております。

以 上

別府議員 1015 作成部局 総合政策局 No.1

質疑要旨 市長はこの任期中、市民に夢を持たせられる
ような市政を行ってきたのか。発信も十分だったのか。

答弁要旨

コロナ対策が2年を超えるなか、今任期においても、
住みたい、住み続けたい、住んでよかったまち尼崎の実
現に向けて、市政に邁進してきました。

尼崎城の再建をはじめとする城内地区の整備、「あま
がさき・ひと咲きプラザ」の本格稼働、地域力を支える体
制づくりの3つのプロジェクトに加え、学力向上や待機児
童対策、中学校給食の開始、防犯対策、議員ご指摘の
魅力の発信についても注力するとともに、実質的な収支
均衡の達成や将来負担の抑制など財政面の改革 も
一定進めました。

その結果、近年、本市のイメージは向上し、若い世代
の転入超過が続くなど引き続き改善傾向にあり、
手応えも感じています。

(次ページに続く)

また、鉄道駅周辺の特色あるまちづくりが動き始めるなど、今後ますます、新たなステージに向かう尼崎のまちのエネルギーを多くの方に感じていただけるのではないかと思います。

今後も市民の皆様が ^{まち} に希望や愛着を持ち、自分らしく活躍できるよう、また、花開こうとしているプロジェクトをしっかりと進め、「ひと咲き まち咲き あまがさき」のまちづくりを進めてまいります。

さらに前へ

以 上

質疑要旨 路線バス運行支援補助金について、今後補助金の上限はいくらで、何年間交付し続ける予定か。

答弁要旨

路線バス運行支援補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の大幅な減少が尼崎市内線を運行する阪神バス株式会社の経営に大きな影響を与えていることから、同社との協議のもと、昨年9月定例会での補正予算において、補助対象路線を4路線から5路線に増やし1912万4千円を増額し、市営バスの移譲時の補助金額である1億9977万2千円としており、令和4年度予算においても同額を上限としています。

この支援補助金は令和4年度のものであり、今後の補助金の交付期間等については現時点では定めていませんが、令和5年度以降については、昨年7月に実施した路線変更後の状況や今後の新型コロナウイルス感染状況の影響を踏まえながら、補助対象とする路線や金額、期間等を阪神バスと協議し、判断して

まいりまう。

株式会社

以上

質疑要旨 廃止路線は補助が認められず、利用者は切り捨てられたのか。今後補助を認めない場合の判断基準は収支率だけか。

答弁要旨

バス路線は、一部の黒字路線の収益等により、赤字路線を含めた全体の路線が一定維持される仕組みとなっていますが、一義的には各路線の運賃収入をベースとした収支によって維持されるべきものです。

したがって、全ての路線を維持するために赤字補填として際限なく補助を行うことは不可能です。

その考え方のもと、本市の路線バス運行支援補助金は、バス事業者の経営努力を前提に上限を設け、路線全体の赤字補填ではなく、路線の収支率のほか、路線上に立地する駅や公共施設、医療機関など社会的な重要性等を考慮したうえで、補助対象とする路線を決定しています。

以 上

質疑要旨 警察と市で防犯カメラの設置場所を決めた上で、地域団体に働きかけて、補助事業を案内していく必要があるのではないか。

答弁要旨

防犯カメラ設置補助事業の目的は、地域防犯力向上を目指して、地域自らが不安に感じている場所を地域で話し合い、防犯マップを作成し、防犯カメラの設置場所を検討いただくことで、地域防犯力の向上のみならず、地域団体の防犯意識の向上も図るものでありますことから、まずは、この事業の実施趣旨をお汲み取りいただき、地域では、これまでどおりの取組を進めていただきたいと考えております。

質疑要旨 補助金の支給以外に、防犯カメラの設置台
数を増やすために、どのように事業を進めていくのか。

答弁要旨

議員ご紹介のとおり、防犯カメラの設置には設置場所
の管理者の許可やプライバシーの問題があることから、
希望通りに設置出来ないこともあると聞き及んでおります。

今後も設置場所に悩まれている場合は、設置を断念する前に
本市にご相談いただけましたら、可動式防犯カメラの設置
で培ったノウハウをもとに、現地に赴き、当
該地域の状況を確認した上で、適切なアドバイスを行って
まいりました。

今後もより多くの防犯カメラを設置いただけるよう設置
交渉の協力も含め、支援してまいりたいと考えております。

以 上

別府議員 1020 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質疑要旨 地域が Happy と感じている事例、具体的に
聴いている声とは。

答弁要旨

学校と地域の Happy Happy な関係とは、地域とともにある学校づくりを進めるにあたり、お互いに「やってよかった」と思える活動にしたいとの思いを込めたものです。

地域の方々からは、「子どもたちが笑顔で声をかけてくれる」や「先生から『ありがとう』と言われたてうれしかった」「やりがいがある」などの声をいただいております。

子どもたちや学校から地域の方へお届けする Happy は、^{また}、ささやかなものかもしれませんが、地域の方々に教えていただいたこと、見守っていただいたことは子どもたちの胸にしっかりと刻まれてい^{るのではないかと、思っていますので、こうした取り組みをさらに進めたいと考えています。}

次代を担う子どもたちそれぞれが、将来、地域社会の構成員の一人として、自分らしい方法で社会や地域に Happy をもたらす人になるよう、学校園・家庭・地域と一体となって、子どもたちの育ちを支えてまいりたいと考えております。

以 上

(梅山教育次長答弁)

別府議員 1021 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質疑要旨 学校運営協議会を設置した学校のフォローを
具体的にどのように行っているのか。

答弁要旨

学校運営協議会につきましては、設置校において定期的に開催されますが、この会議には教育委員会事務局からもできる限り参加し、状況の把握に努めております。

また、元小学校長のコミュニティ・スクールディレクターが学校を巡回し、助言を行うとともに、設置校の取組や他市の先進事例を紹介する小学校向けのPR紙「コミュニティ・スクール通信」を作成し、各校の取組の参考となる情報を発信するなど、取組の定着を図るため、きめ細かくフォローを行っているところです。

以 上

別府議員 1022 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質疑要旨 コミュニティ・スクール事業を実施するにあたり、設置、設置校へのフォローに十分な人員配置が出来ているのか。

答弁要旨

コミュニティ・スクールの立上げ期は、学校運営協議会の事前準備に学校現場も、かなりのエネルギーを必要とします。

教育委員会事務局といたしましては、モデル校8校の立上げの経験で培ったノウハウを活かし、設置検討校には説明会を実施するほか、設置に向けての不安や疑問にも丁寧に助言するなどしっかりと学校をサポートしております。

また、令和4年度より、担当課の事務分担を見直し、これまで教員OBが1人で担当してまいりましたコミュニティ・スクールディレクターを2人体制とし、より丁寧に設置準備の支援と設置後のフォローに努めてまいりたいと考えております。

以 上

別府議員 1023 作成部局 健康福祉局 No.1

質疑要旨 寄付者に対し施策の費用対効果を示してほしい。現在のホームページは非常に見にくく寄付者に寄り添った改善に繋がっていないが見解を聞きたい。

答弁要旨

現在、ホームページにおいて、寄付金の受入実績及び活用実績を公表しておりますが、事業や数字の紹介に止まっており、ご指摘のとおり、利用される方が閲覧しにくい状況になっていることは認識しています。

こうしたことから、今後は寄付者の方が一目で、寄付金の活用状況を把握できるよう、事業目的ごとに分類し、あわせて事業実績を掲載するなど、公表方法の改善に努めてまいります。

以 上

別府議員 1024 作成部局 健康福祉局 No.1

質疑要旨 第2種動物取扱業届出の本市での届け出数
は何件か。市内全ての第2種動物取扱業者に立入
調査を行った結果、把握した保護猫の数は。

答弁要旨

営利性のない動物の取扱いのうち、飼養施設を設置し、
一定頭数以上の動物の取扱を業とする場合、動物愛護
法に基づき、第2種動物取扱業の届出が必要となり、3
月16日現在で、本市への届出数は6件です。

また、市内全ての第2種動物取扱業者に立入調査を行
った際、把握した保護猫数は97匹です。

以 上

別府議員 1025

作成部局 健康福祉局 No.1

質疑要旨 団体登録のある団体について保護頭数の確認や現状把握はどのように行っているか。

答弁要旨

譲渡登録のある団体に対しましては、譲渡の際、団体が保護している頭数を確認するとともに、収容スペースや人員に余裕がある場合に限り譲渡しており、譲渡後は、動物譲渡実施要領に基づき、譲渡等報告書の提出を求めています。

また、頻繁に譲渡を行っている団体につきましては、現地にも赴き、飼育状況を確認しております。

なお、10匹以上猫等を保管している場合、第2種動物取扱業の届出施設になることから、人的要件及び施設要件を確認するため、立入検査を行っております。

以 上

別府議員 1026

作成部局 健康福祉局 No.1

質疑要旨 野良猫不妊手術助成金制度の見直しが予定
されていると伺っているが、どのように改正されるのか。

答弁要旨

人件費及びガソリン代の高騰等により、現行の助成額では、制度を活用するボランティアの方に自己負担が生じる可能性があったことから、野良猫不妊手術助成金の上限の一部を引き上げ、令和4年4月1日から実施する予定としております。

以 上

別府議員 1027 作成部局 健康福祉局 No.1

質疑要旨 野良猫を保護する場合等にも本助成金を適用すべきと考えるがいかがか。

答弁要旨

野良猫不妊手術助成金制度は、TNR活動を支援するため設けた制度であることから、ご提案の野良猫を保護した場合に適用する考えはございません。

以 上

別府議員 1028

作成部局 健康福祉局 No.1

質疑要旨 高齢者飼育放棄猫の不妊手術代を交付する等、課題解決を目的としたボランティア支援の観点から要綱の見直しを行うことについて市長の見解は。

答弁要旨

ボランティアの皆様の負担を軽減するため、活動しやすい環境づくりは重要であると認識しております。

しかしながら、先程、お答えしましたとおり、野良猫不妊手術助成金制度については、TNR活動の促進に向け設けたものであり、高齢者が飼育放棄した猫への手術代等に活用することができないことから、複数匹飼養されている場合については、状況を把握したうえで、多頭飼育不妊手術助成金等の活用について検討してまいります。

以 上

質疑要旨 コミュニティサイクルに関する数値目標は。

答弁要旨

本市でコミュニティサイクルを本格的に実施するために令和3年4月に策定した都市再生整備計画において、令和5年度に総利用回数30,000回、ポート数50か所としています。

以 上

質疑要旨 ポートの市内全体数と、そのうち、料金が発生している数は。

答弁要旨

現在、市内に29か所のサイクルポートがあり、令和4年度については、そのうち4か所について、使用料を負担する予定でございます。

以 上

質疑要旨 コミュニティサイクル運営事業者はポート使用に係る区画使用料を本市に支払っているか。また、駅前駐輪場運営事業者と本市の協定や契約は。

答弁要旨

国内におけるコミュニティサイクル・ビジネスは、現在のところ安定的な運営には至っておらず、国の自転車活用推進計画においても行政がその普及を促進することとされています。このようなことから、当面の間、ポートに係る区画使用料を本市が負担しており、コミュニティサイクル運営事業者からは支払いを受けていません。

また、本市では、駅前駐輪場運営事業者の（公益財団法人）自転車駐車場整備センターと駐輪場の整備及び管理について協定を締結しており、主には、同センターが施設整備の主体となり、整備費用の全額負担や、概ね15年程度、施設の管理運営について行うといった内容です。

次に、同センターと本市との間において、同センターが管理運営する駐輪場のうちコミュニティサイクルポート用の区画の賃貸借について、令和4年4月1日からの1年間の予定で契約を締結する予定です。（以 上）

質疑要旨 市が無償提供した土地の上で運営している

民間駐輪場の区画を、有償で借り受けるのはなぜか。

答弁要旨

コミュニティサイクル事業は観光施策の展開、地域経済の活性化、温室効果ガスによる地球環境負荷の低減といった公共性を有するものですが、現在のところ安定的な運営には至っておらず、まずは本市域内で継続されることを第一に、当面の間は行政による支援の必要があると考えています。

一方、駅前駐輪場運営事業者からはコロナ禍の影響で利用者収入が減少していることを理由として、本市にコミュニティサイクルポート用として使用料を負担してほしいという意向があったことから、支出する予定としております。

しかしながら、無償でのコミュニティサイクルポートの設置の可否についてもあらためて調整を行ってまいります。

以 上

質疑要旨 駅前駐輪場運営事業者とコミュニティサイクル運営事業者それぞれの損益分岐点は。

答弁要旨

駅前駐輪場運営事業者が管理運営する駐輪場は、令和2年度の管理運営費から試算すると、対象の4施設で1月当たり1千台を超える定期契約を確保することが損益分岐点であると聞いております。

次に、コミュニティサイクル事業につきましては損益分岐点をはかる指標として、1台の自転車が1日に1.42回使われる必要があるとのことです。現時点では0.4回程度 ^{参考として} となっております。

以 上

質疑要旨 コミュニティサイクル・ビジネスが民間事業者
単体で自律運営ができるのはいつか。

答弁要旨

本市のコミュニティサイクル・ビジネスが民間事業者
単体で自律運営を行えているかどうかの判断は、事業者との協定期限である令和5年度が目安と考えております。

その際には、当該事業の利用状況等を踏まえ、今後のコミュニティサイクルの在り方について、あらためて判断してまいります。

以 上

質疑要旨 駅前駐輪場運営事業者の財務状況に関わらずコミュニティサイクルポートのために使用料を負担するのか。

答弁要旨

先ほどご答弁しましたとおり、駅前駐輪場運営事業者からは、コロナ禍の影響で利用者収入が減少していることを理由に、コミュニティサイクルポート用として本市が借り受ける区画に係る使用料を負担してほしい意向があったことから、本市が使用料を支出する予定としております。

無償でのコミュニティサイクルポートの設置の可否についてもあらためて調整を行ってまいります。

以 上

質疑要旨 本市は、空き家の耐震改修では無く除却を進める方向に舵を切ったのか。耐震診断が減少している原因が申請数の減少とのことであるが、見解はどうか。

答弁要旨

まず空家対策については、来年度、老朽空家などへの除却補助を拡充しておりますが、これは状態の悪い空家を早急に解消するための拡充であり、利活用可能な空家は引き続き改修費の補助を行うなど、活用を促し、活用が難しい空家は除却を促す、という両面から取り組んでいく方針に変わりはございません。

次に、耐震診断につきましては、国が行ったアンケート調査の結果からも、工事費用の額に関わらず耐震改修をしない方が4割もおられることから、耐震化に対する意識が低いことが、申請数減少の一因と考えられます。

こうしたことから、今後も地震に備え、所有者にわかりやすく、耐震化について理解されるような啓発に取り組んでまいります。

以 上

質疑要旨 「同じ目標に向かって」とあるが、どのような目標か。また、どのような団体と具体的な施策を進めていく考えか。

答弁要旨

地区のまちづくりを行うには、良好な住環境の保全や防災性の向上など、地区の課題解決等に向けた目標を定め、その目標達成に向けて地区の皆さんで取り組む必要があると考えております。

この目標を達成するための具体的な取組に、地区計画の策定や地区まちづくりルールの制定などがあり、市は、こうした地区のまちづくりに取り組む団体に対し、活動内容のPRに係る費用の助成やまちづくりの勉強のための専門家派遣などの支援を行っているところです。

こうした取組を通して、市職員も参加する中で、地区の課題や魅力を発見し、ありたいまちの姿を共有し、その目標達成に向けて地区の皆さんで取り組むことが重要であり、それが地区のまちづくりにつながるものと考えております。

以 上

質疑要旨 老朽危険空家の跡地活用について、具体的にどのようなコンセプトを持って相談に乗るのか、また、再建築不可を可能にするような活用の相談にも取り組むのか。

答弁要旨

跡地活用の相談につきましては、地域における課題はさまざまであり、所有者の意向もあるかと思しますので、ご相談の内容により関係部署において柔軟に対応して参ります。

また、道路に接しておらず再建築できないような建築物の建替えに際しましては、これまでから技術的な相談も含めて対応しているところであり、特に老朽危険空家等については再建築を促進するため、専門家の活用に係る経費の一部補助を行っております。

以 上

質疑要旨 原点に立ち返り今後の所有者への指導の展開をどのように進めて解決率を上げて空家件数を減少させていくのか。

答弁要旨

これまでの、管理不全空家の所有者に対する指導の強化と、支援策の充実により、空家相談の単年度の解決率は、空家対策の取り組みを始めた平成27年度の約25%から、令和3年度は、約84%と大きく上昇し一定の効果をあげているものと考えております。

今後も引き続き、所有者自らが改善できるよう、強く働きかけてまいります。

こうした取り組みに加え、所有者が遠隔地におり空家の状態を把握していないケースや、そもそも自らが相続していることを認識していないケースがあることから、所有者への情報提供の強化にも努めてまいります。

さらに、空家対策に関しては、早期の取組が重要であることから、空家になる前からの備えを促すなど、総合的な取組により市内一円の空家対策を進めてまいります。

以 上

質疑要旨 新駅設置の判断基準は何か。いつまでに結論を示す予定か。

答弁要旨

新駅の設置は、人口転出による地域の活力低下などの課題解決につながるものとして、一定の有用性を見通す中で具体化に向け取り組んでまいりますが、まずは地域住民の方々の意向を踏まえたうえで判断していく必要があると考えています。

そのため、来年度に実施予定のアンケート調査については、新駅設置の賛否のみではなく、現段階での懸念事項等、様々なご意見をお聞き出来るよう進めることとしています。

現時点で新駅設置の判断基準や結論を示す時期を明言することはできませんが、このアンケート調査の結果等をもとに地域住民の方々の意向や懸念事項を踏まえるとともに、新たな交通戦略の策定など新駅設置が国庫補助事業として採択されるための要件を整理したうえで、総合的に判断していく必要があると考えています。

以 上

質疑要旨 市場機能だけの建て替えではなく、稼ぐ力を与えるわくわくするような施策を考えるべきと思うが、どうか。

答弁要旨

「今後の市場のあり方」検討につきましては、ハード面の「施設に係る内容」とソフト面の「市場運営に係る内容」の双方をセットで考える必要があり、安定した市場運営を継続するためにも、両内容が相互に機能的に連携することに加え、稼ぐ力も重要となります。

現在の立地を踏まえた集客施設等の導入につきましては、費用対効果のみならず、長期的な運営が大きな課題と考えており、運営主体を含め、十分な調査、慎重な判断が必要ではありますが、ご指摘の通り、にぎわいの創出など、集客力の強化は、市場運営に非常に重要な要素であると認識しております。

今後、地域のポテンシャルを踏まえたうえで、集客力の強化を含め、「市場運営に係る内容」の調査、検討を進めてまいります。

以 上